



資産管理会社のイコールパートナーズ、小僧寿し本部<9973>をTOBで子会社化



資産管理会社のイコールパートナーズ（東京都品川区）は、小僧寿し本部をTOB（株式公開買い付け）により子会社化することを決議した。イコールパートナーズは通信サービス事業のインボイス（東京都港区）創業者の木村育生氏の個人資産管理会社。小僧寿し本部の筆頭株主のすかいらーく（東京都武蔵野市。所有割合52.57%）はTOBに応募する意向を示している。小僧寿しはTOBに賛同している。買付株数には上限が設定されており、小僧寿しはTOB成立後も上場を維持する。

買付価格は1株あたり140円。TOB公表前営業日の対象株式の終値167円を16.17%下回る水準。

買付予定数はすかいらーく保有分の680万8700株を下限とし、上限は680万9000株に設定している。応募総数が下限に満たない場合は全部の買い付けは実施しない。また上限を超える場合は超える部分の買い付けは行わない。買付予定額は9億5326万円。

買付期間は2012年2月15日から3月13日までを予定している。決済の開始日は3月21日。